

(参考資料)

北海道幌延町における深地層試験について

1. 目的

我が国は、高レベル放射性廃棄物を地下の深い地層中に処分することが基本的な方針。関係研究機関が密接な協力の下に、2000年前までに研究開発成果を取りまとめ、処分の技術的な信頼性を示すとともに、処分予定地の選定と安全基準の策定に資する技術的拠り所を示す。これらを踏まえて、2000年以降は、信頼性の検証、安全評価手法の確立に向けて研究開発を推進。

北海道幌延町における堆積岩を対象とした深地層試験により、岩盤及び地下水に関する定量的な研究やデータの整備、体系的調査手法、安全評価モデル、処分施設の設計・施工技術に関する研究開発を推進。

このための施設は、学術的研究に寄与できる開かれた研究の場として整備し、広く内外から研究者の参画を得て総合的に研究を進め、成果を分かりやすく公表し、開かれた国際的研究拠点を目指す。この施設に放射性廃棄物を持ち込まない。

施設を積極的に公開し、一般の方々に深部地質環境を実際に見て体験していただくとともに、情報ネットワークなどを使って、分かり易く的確に情報を公開。

2. 試験の概要

(1) 主な試験

- 物理探査、ボーリング試験
- 表層から地下深部までの岩石や地下水に関する包括的なデータ取得試験
- 坑道掘削等による地質環境の特性への影響に関する試験
- 地下施設の設計・施工技術に関する試験

(2) 主な施設

①地下施設

- ・連絡坑道、試験坑道、通気孔
- ・深度：約500～1000m

②地上施設

- ・研究施設、国際交流施設、機器整備施設、岩芯倉庫